



いずみ

袖ヶ浦学園

齋藤 哲郎

平成 21 年 4 月から平成 24 年 3 月までの 3 年間、施設長を勤めさせていただきました齋藤と申します。今般、再び施設長として勤務することになりました。見覚えのある名前だと思われた保護者の方もいらっしゃると思います。先の 3 年間には、御指導、御鞭撻、そして多大なる御協力をいただき、感謝の気持ちでいっぱいでした。この間、障害者の環境も大きく変わりました。袖ヶ浦学園も創立 20 周年を機に、グループホームを立ち上げ、相談支援事業の開始等、当時の 3 年間とは大きく変化しています。浅学の身、皆さまの御指導・御協力のほど、よろしくお願いいたします。また、コロナ禍の中、袖ヶ浦学園に来園することは困難となっておりますが、一日も早い終息を願い、就任にあたってのご挨拶とさせていただきます。

CONTENTS

さすまた講習	1
各作業班の紹介	2～6
グループホーム 絆	7
職員コラム	8
令和2年度 事業報告	9、10
助成のお礼、編集後記	11

さすまた講習

記憶にまだ新しい事件ですが、相模原障害者施設殺傷事件(津久井やまゆり園での大量殺人事件)を受け、施設職員にも日々の生活の中で、防犯への知識や意識が必要になっています。

「さすまた」とは、約 2 メートルのアルミ製の材質で、見た目はとても心強い道具にみえます。使用目的としては、不審者を倒すことなく、不審者を足止めする(抑え込む)道具として活用します。あくまで時間稼ぎを目的としますので、利用者の皆さまの安全を確保しつつ、不審者が退散をしてくれるような誘導ができるよう講習会を実施しました。

ある警備会社からの情報では、不審者と対峙した際には、なるべく相手と揉み合うような状況に持ち込まないことが重要で、大声で助けを呼ぶことで、不審者が逃走してくれることが最善の策とのことでした。

今回、新たに「さすまた」についての講習を実施し、改めて利用者の皆さまの生活を守る術を身に付けておくことの重要性を再認識することができました。

防災委員会 白井 琢哉



Gメン班

農作業

向夏の候、皆さまいかがお過ごしでしょうか？

Gメン班は今年度も元気に畑で作物をつくっています。

昨年度より少し種類を減らしていますが、利用者の皆さまと一緒に準備をし、育て、収穫する達成感を味わえることを目標にしています。すでに、ジャガイモ、里芋、トウモロコシ、さつまいの作付けをおこないました。ビニールハウスでは、シャインマスカットが昨年に引き続き、次第に大きく実ってくれています。

なかなか畑での作業ができない時期もありますが、その際は施設内の清掃などもおこなっています。ゴミ袋を片手に施設周辺のゴミ拾いに出かけることもあります。ときには気乗りのしない日や疲れてしまう日もあります。しかし、Gメン班の皆さまは、基本的には日課の確認や準備なども積極的におこなっていらっしゃる、精力的に活動へ参加していらっしゃいますので、安心しながら様子をみさせていただきます。

今年度も、「雨にも負けず風にも負けず、雪にも夏の暑さにも負けぬ、丈夫なからだをもち」続けていただけることを願うとともに、日々の活動終わりには「怪我無くおつかれさまでした。」と言い続けられる年にしたいと、班の職員一同願っております。

白井 琢哉



チャレンジ班

はじめての『チャレンジ』班

今年度より、チャレンジ班のリーダーを務めることとなりました、笹生です。

私は入職してからの4年間、スマイル班とにつこり班を担当しておりました。今までチャレンジ班の活動にはあまり参加したことがなかったため、多くのことが初めてのことばかりです。昨年度から担当している職員より、活動の流れや対応等を聞きながら取り組んでいる最中で、少しずつですが慣れてきたこともあり、まだまだといった部分もあります。

活動内容である自立課題についても、各担当職員が利用者の皆さま各々にあった課題を作成していることを知り、説明を受ける中で、奥が深いなという印象を受けました。それと同時に、今度は私自身が利用者の皆さまのことを考え、課題を作成していく側だと気付かされました。工夫や試行錯誤を重ねながら、課題を作成し提供してまいりたいと思います。

現在、新型コロナウイルスの影響により、外出や帰省等には制限があり、これまでの生活に戻るまでに、もうしばらく時間はかかると思います。定期的に食事会を実施したり、平日におこなう活動を中心に、コロナ禍でもできることを考え、より充実した穏やかな日々を過ごしてもらえよう、職員で協力しあって支援に努めてまいりたいと思います。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

笹生 哲司



ステップ班

ステップアップ

昨年10月からステップ班に配属となりました、生活支援員の森克樹(もりかつき)と申します。

今年度のステップ班は、利用者様12名(グループホーム絆からの通所者様3名含む)と職員6名の計18名で編成されています。世の中は未だに新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない状況ですが、そんな中でも、新しいステップ班として、どの様な活動をご提供すべきかと、職員それぞれが案を出し、さまざまな活動材料を揃えてまいりました。

内容としましては、洋服の仕分け、ハンカチたたみ収納、紐通しなど、日常生活に直結するものや、プリント作業、パズル、絵柄合わせなど、多種多様であります。5月から新しい活動内容になり、喜んでいる利用者様や、一生懸命に取り組んでいらっしゃる利用者様の姿が見られております。最初は、思うようにいかないことでも、職員と一緒に取り組んでいくうちに、だんだん早く上手になり、スキルアップしているのが一目瞭然で、驚きと共に感心させられることばかりです。

また、今年度は健康管理も主軸に活動を考えております。今までどおりの歯磨き支援、歩行運動はもとより、コロナ禍の現状でも、少しは、屋外に出て、日光浴や散歩などで太陽の日差しを浴び、外気を思い切り吸って、風を浴び、心からの健康を目指してストレス緩和やヘルスケアに配慮してまいりたいと思います。

もちろん感染対策も万全に講じていきます。そして、利用者様の生活や個性を尊重し、穏やかな日々を送れるよう職員一同ご支援させていただきます。今後とも、よろしくお願いいたします。

森 克樹



にっこり班

いつもニコニコにっこり班

私たちにっこり班は、「明るく楽しく笑顔で」をモットーに活動をおこなっております。

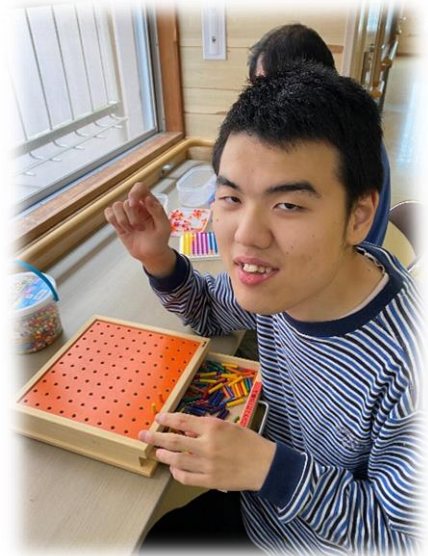
主に、利用者の皆さまのレベルに合った、パズルやペグボードやビーズの糸通し等の個別支援をおこなっております。

穏やかな晴天のときは、施設内のグラウンドで歩行運動をしています。職員と手を繋ぎ、歌を歌いながら歩行をしたり、利用者様同士で手を繋ぎながら日向ぼっこをなさったりしていらっしゃいます。

新型コロナウイルス感染症により、利用者の皆さまが外出したり保護者様と面会したり出来ない状態が続いておりますが、なるべく明るく元気に過ごすようにしております。

早くマスク無しでの安全な外出が出来ることを皆で願っております。

西井 樹



ほほえみ班

今年もやるぞ！ほほえみ菜園

雨後の新緑があざやかな季節になってまいりました。

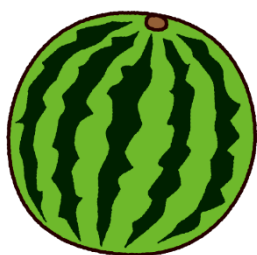
ほほえみ班は新しいメンバーを迎え、班の担当職員も2名を残し新しい顔ぶれとなりました。

「今年度はどんなことをやろうかな。」と考えておりましたが、やはり野菜を育てたいとの利用者様からのリクエストがありましたので、小規模ではありますが、ほほえみ菜園で野菜の栽培をおこなっていくことにしました。

すでに吉田生活支援員の協力を得て、昨年大成功を収めた枝豆とスイカを植えてもらいました。これから梅雨になりますので、水のやりすぎに注意し、「大きな一れ、大きな一れ」と願いを込めながら、お世話をしております。今から、実った野菜を食べるのが楽しみです。

また、コロナウイルスの影響で外出自粛の生活が1年以上続いており、運動不足により体力が低下してしまってきています。今年は限られた範囲の中で、できる限り体を動かす機会を増やし、何とか体力を少しでも戻せていけるように頑張りたいと思います。

若井 春香



グループホーム 絆

5月の様子

5月9日(日)は母の日でした。私は、毎年他県に住んでいる母親に電話をして様子を尋ねています。この時季に花屋の前を通ると、実家ですごした思い出や感謝の気持ちが込み上がってきます。

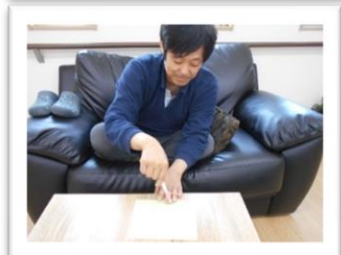
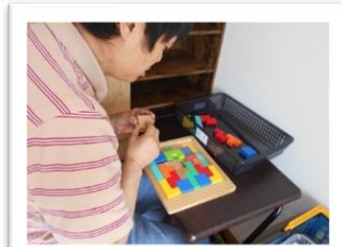
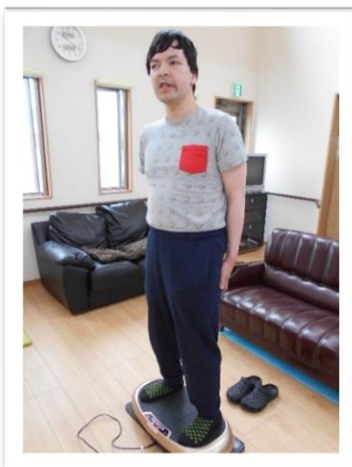
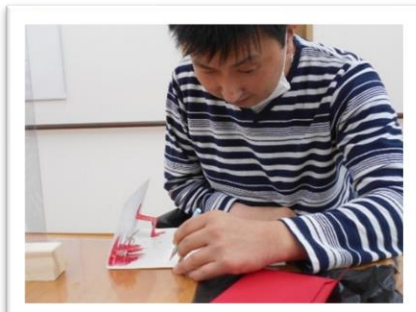
グループホームの利用者様もテレビのニュースで母の日の特集があると、「元気かな?」「先生のお母さん元気?」と、それぞれの思いを職員へ伝えてくださいます。感染症予防のために昨年からは帰省できない状態が続いており、利用者様も寂しい思いをなさっていると思います。

今年、職員の提案で、会えないお母様方に手紙を出すことにしました。離れていても気持ちが繋がっていることを体感できるのではと思い、提案してくれた職員へは感謝しております。手紙が届いた後、利用者様宛の電話や手紙が次々ときて、声を聴いて喜ばれたり、手紙の代読に嬉しそうに笑ってくださいました。

5月下旬は、通所している袖ヶ浦学園で水疱瘡患者が出たため、予防のために2週間通所をお休みしました。2週間も通所をお休みするのは初めてで、生活リズムが崩れないか不安でしたが、生活介護でおこなっている活動を参考に、グループホームでも定期的に活動をおこないました。それぞれが取り組んでいる活動の道具や運動器具を使って過ごしました。数日経つと、10時前から食堂のテーブルで道具を持って待機なさっていることもありました。また、活動中に「いつ行く?」と職員に尋ねては、通所を楽しみにしている方もいらっしゃいました。

慌ただしい5月ではありましたが、充実した1か月でした。

平島 吉隆



職員コラム

雨傘に魅せられて

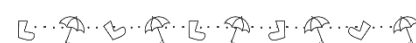
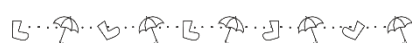
先日、アマゾンプライムで「シェルブールの雨傘」を観ました。かの有名なカトリーヌ・ドヌーヴ主演の1964年に公開されたミュージカル映画です。

以前から興味はありましたが、何しろ古い映画です。刺激がなさすぎて寝てしまうかもしれない、と最後まで鑑賞できるか不安がよぎりましたが、とにかく、観はじめました。

オープニングでは、フランスの北西部にあるシェルブールの港が寂しげに映し出されます。物悲しいテーマ曲が流れ、真上からの視点で雨の石畳にカラフルな傘が左右へ、上下へと印象的に動いていきます。ストーリーはいたってシンプルで、若者のすれ違いの悲恋なのですが、作られた映画の世界に入り込んで楽しむことができ、あっという間に時間が過ぎました。心配は無用でした。

最近、通勤路で猪を見かけた時とはまた別の意味で、刺激を受けることができ、満足しています。

柏谷 幸江



今更ですが・・・『変身！』



今回は、2回目のコラムです。3年半前に趣味のマラソンについて、地元のフルマラソンの大会『ちばアクアラインマラソン』で、サブ4(4時間以内に完走)を目標と書きました。結果は4時間33分で目標達成とはなりませんでしたが、それでも、半年後の別の大会で、3時間58分でゴールすることができ、やっと中級者の仲間入りを果たすことができました。

昨年からは、新型コロナウイルスの影響もあり、大会出場の予定が無く、たまにランニングをして日々を過ごしています。今後は、4大会連続出場中の『ちばアクアラインマラソン』でサブ4を達成することと、最終的にサブ3.5(3時間30分切り)が目標です。これまでに、出場の大会すべてで自己ベストを更新することが出来ているので、今後も目標に向かって挑戦していく所存です。

そして、昨年夏からはまた新しい趣味が増えました。4歳と2歳の子供と一緒に仮面ライダーを観ることです。私の幼少期には放送が無く、戦隊シリーズやウルトラマンを観ていました。

仮面ライダーといえば、『変身！』今年で生誕50周年を迎えます。今の仮面ライダーはベルトに装着する変身アイテムがたくさんあり、自宅にはベルトや武器、変身アイテム等のグッズが徐々に増えています。仮面ライダーに興味のある方、是非お声かけください。

笹生 哲司

令和2年度 事業報告

【法人の経営】

- 理事会の開催 令和2年6月・9月・12月、令和3年3月
- 評議員会の開催 令和2年6月・12月、令和3年3月

【障害者支援施設の運営】

- 「袖ヶ浦学園」の運営
 - ① 施設入所支援事業(定員:50人)
 - ② 生活介護(定員:60人)
 - ③ 短期入所(定員:5人)
- 職員の状況(令和3年3月31日現在)

【職員数】

(人)

	施設長	事務管理部	サービス 管理責任者	生活支援員	看護職員	栄養士	清掃員	計
正規職員	1	2	1	23	1	1	0	29
期間契約職員	0	1	0	12	0	0	1	14
計	1	3	1	35	1	1	1	43

- 利用者の状況……年間延べ利用者数（令和2年4月～令和3年3月）
 (1)施設入所支援 年合計 17,651人 (2)生活介護 年合計 14,448人 (3)短期入所 年合計 688人

【年齢別表】

(人)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	計
男 性	0	8	7	12	8	1	1	0	37
女 性	0	1	1	5	2	1	2	0	12
計	0	9	8	17	10	2	3	0	49

*平均年齢は、男性 41.1 歳、女性 51.4 歳、全体 43.7 歳。

【障害の状況(障害支援区分)】※平均障害支援区分は、約 5.55。(人)

	1	2	3	4	5	6	計
男 性	0	0	0	3	12	22	37
女 性	0	0	0	1	2	9	12
計	0	0	0	4	14	31	49

● 年間実施行事

誕生日会、お寿司パーティー、クリスマス食事会、食事会他

● 職員研修状況

施設内研修…作業療法 1 回、音楽療法 6 回 施設外研修…全職員対象 51 項目

● 各種会議の実施状況

職員会議、企画運営会議、ケース会議、支援員会議、給食会議、各種業務会議等

● 事故・ヒヤリハット報告

怪我等発見報告…145 件、ヒヤリハット報告…42 件、事故報告…50 件(うち、千葉県および市区町村に提出したもの…6 件)

● 利用者の健康管理

健康診断、嘱託医による診察、インフルエンザ予防接種など

【相談支援事業の運営】

● 「相談支援センター 晴」の運営

相談支援利用人数…169 人(令和 3 年 3 月 31 日現在)

【共同生活援助事業の運営】

● 「グループホーム 絆」の運営

① 共同生活援助事業(定員:7 人)

② 短期入所事業(定員:2 人)

● 利用者の状況……年間延べ利用者数 (令和 2 年 4 月～令和 3 年 3 月)

(1)共同生活援助 年合計 1,767 人 (2)短期入所 年合計 129 人

【年齢別】 40 代 4 人、50 代 2 人 合計 6 人 (いずれも男性)

【障害の状況(障害支援区分)】

区分 3……1 人、区分 4……2 人、区分 5……1 人、区分 6……2 人 合計 6 人 (いずれも男性)

助成のお礼

千葉県ゴルフ協会主催の「ゴルフフェスタ CHIBA2020」チャリティー募金から、1,100,000 円の車両購入費を助成していただき、「NV350 キャラバン・チェアキャブ・クルマイス 2 名 QR25DE 5AT (日産キャラバン チェアキャブ 車いす 2 名 定員 10 名)」を購入し、4 月 14 日(水)に納車されました。主に、「グループホーム 絆」の利用者様の送迎に使用しています。ありがとうございました。



【編集後記】

障害者支援施設職員への PCR 検査が 3～6 月の間、月に 1 度実施され、全員が無事に陰性の結果をいただいています。このような検査が受けられることをありがたく思う反面、コロナワクチン接種という次なる課題が迫っています。利用者の皆さまの接種が終わり、外出や帰省などができるようになり、皆さまの笑顔が見られるようになることを願っております。

吉田 美紀

【広報担当職員】 吉田(美)・笹生・佐々木

社会福祉法人いずみ会

〒299-0205 千葉県袖ケ浦市上泉 1767-21 URL: <http://izumi-kai.com>

障害者支援施設 袖ケ浦学園 ☎0438-75-4585 ✉izumikai@vanilla.ocn.ne.jp

相談支援センター 晴(ハル) ☎0438-97-5118 ✉haru-soudan@kind.ocn.ne.jp

グループホーム 絆(キズナ) 〒299-0236 千葉県袖ケ浦市横田字北上堰 124-1

☎0438-97-7815 ✉kizuna7815@orion.ocn.ne.jp

